



ドアB種

主として中高層建物(ビル、マンション等)の出入口に使用されるスチール製、ステンレス製または木製のドアです。開き方式はスイングタイプ(開き戸)のみで、片開き、親子(両)開き、袖FIX片開き等があります。

ドアB種の概要

- ・主として中高層建物(ビル、マンション等)の出入口に使用されるドア
- ・仕様により、防犯補強(錠・扉・枠補強)が異なります

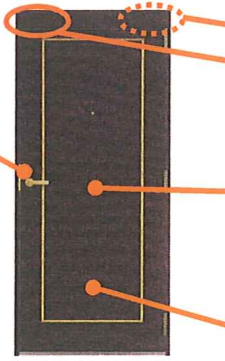
■受け座壊し・錠こじり対策

ドア内部と錠受け部の枠に補強を施し、官民合同会議適合品の錠を使用することで、バール等による攻撃に高い抵抗性を有しています。



仕様により、錠の種類(標準デッド、鎌デッド、補助錠付き)等が異なります。

写真は鎌デッド錠



写真は片開きドア

■CPシール貼付例

ドア外部側の戸先上部、または、ドア内部側の吊元上部に、CPラベルを貼付しています。



■面材破壊対策

ドア内部に補強を施し、金切挟等による攻撃に高い抵抗性を有しています。

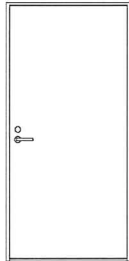
■戸板破り対策

ドア内部に補強を施し、金切挟等による攻撃に高い抵抗性を有しています。

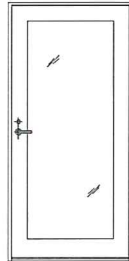
ドア(B種)の開口バリエーション

ドアB種には下記の開口バリエーションが含まれます。

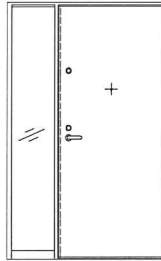
片開き(耐震)ドア



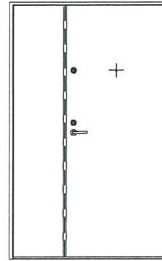
片開き枠ドア



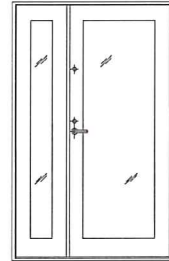
袖FIX片開きドア



親子(両)開きドア



親子(両)開き枠ドア



【付帯条件】

主錠及び補助錠については目録登載の製品であって、「標準」とあるものは「標準デッドボルト」を、「鎌」とあるものは「鎌付デッドボルト」をそれぞれ示しています。ただし、標準デッドボルト錠に代えて鎌付デッドボルト錠を使用すること及び補助錠を追加することはかまいません。

ガラスについては目録登載の製品を備える必要があります(ただし、ガラスはめ込み部の面積が一定以下であるなど所定の条件を確保できる仕様についてはこの限りではありません)。

【抵抗時間】

侵入者が面材破壊やドアこじりなどの行為を開始してから建物内部に侵入が可能になるまでの時間を「抵抗時間」と呼び、各商品ごとに定められた試験を行い、抵抗時間が5分間以上であることを確認されたものが「防犯性能の高い建物部品」(CP製品)として目録公表されています。

※ ご注意

CP製品は、客観的に評価された防犯性能を有する製品ですが、侵入を完全に防ぐものではありません。従って、侵入犯罪による物品の損害も同様に損害賠償の対象とはなりません。